

■西久松友花氏



陶芸作家。歴史や伝統が継承されて現代へと残る伝世品や文化的背景を持つもの、土着文化や宗教的象徴物への関心を持ち、それらの形や装飾を土で象形することで再構築・再解釈している。未知や不可視なものに対する恐怖や自然への畏敬の念から、自身が継げる偶像のような存在を可視化したいという思いがあり、日々創作活動に励んでいる。

1992年京都府生まれ、2016年京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻卒業、2018年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻陶磁器修了。京都を中心に個展、グループ展、アートフェアに参加。主な受賞歴は、2017年 Kyoto Art for Tomorrow-京都府新鋭選抜展 2017 NHK 京都放送局賞、2018年京都花鳥館賞奨学金最優秀賞、2023年 ART&CITY AWARD presents シエリアタワー中之島グランプリなど。收藏先に京都銀行（京都）、園城寺（滋賀）、中信美術館（京都）がある。

▶2023年4月よりファッションホテル京都パブリックスペースにて作品展示開始予定

<作品一例>



炎華

730×280×240mm

磁土、釉薬、金、プラチナ、真鍮、組紐、スワロフスキー

2023年

photo by Takeru Koroda